Microsoft Power Platform

Power Platform ライセンス ガイド

2023 年 10 月

目次

購入方法 4
製品ライセンス 4
推奨オファー 5
Power Apps Premium 5
Power Automate Premium 6
Power Automate Process 6
Power Automate Process Mining 6
Power Virtual Agents 7
Power Pages 認証済みユーザー 8
Power Pages 匿名ユーザー 8
その他のオプション 9
Power Apps 9
Power Apps Premium 9
Power Apps per app 9
Power Apps per app 従量課金メーター 10
Power Apps の概要 11
Power Automate 12
Power Automate Premium 13
Power Automate per user 13
Power Automate Process 13
Power Automate per flow 14
Power Automate Process Mining 14
Power Automate ホスト型 RPA アドオン 15
Power Automate 無人 RPA アドオン 15
Power Automate の概要 17
Power Virtual Agents 18
Power Virtual Agents の概要 19
Power Virtual Agents キャパシティ アドオン 20
Power Pages 20
Power Pages 認証済みユーザー サブスクリプション 21
Power Pages 匿名ユーザー サブスクリプション 21
Power Pages 認証済みユーザー メーター 22
Power Pages 匿名ユーザー メーター 22
Power Pages の概要 24
Dataverse 25
AI Builder 27
関連情報 29
マルチプレキシング (多重化) 29
外部ユーザーのライセンス要件 29
トライアルと実装 30
開発とテスト 30
価格 30
Power Platform サービスのサポート 30
付録 A: 用語とカスタム テーブル 31
付録 B: Power Platform の機能を含む Dynamics 365、Microsoft/Office 365、Windows のライセンス 33
付録 C: 変更履歴 34

このガイドの使用について

このガイドは、Microsoft Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages、Power Platform キャパシティ アドオンのライセンスについて理解を深めることを目的としています。

このガイドはライセンス要件について理解を深めることを目的としており、以下の章で構成されています。

1) 購入方法
2) 製品ライセンス
3) 関連情報
4) 注意点、変更点

特定の組織にとって適切なテクノロジ ソリューションや、個々の製品やシナリオにおけるライセンス要件を確認するには、マイクロソフト アカウント チームまたはマイクロソフト認定パートナーにご相談ください。このガイドは、使用権について規定するいかなる法的ドキュメントにも優先するものではなく、また、これらに置き換わるものでもありません。

マイクロソフト製品の購入、マイクロソフト ライセンス プログラムの詳細については、マイクロソフト ライセンス プログラム ガイド (英語) にアクセスしてください。または、マイクロソフト セールス (855) 270-0615 (米国) までお問い合わせいただくか、各国や地域のマイクロソフト ボリューム ライセンス サイトにアクセスしてください。

更新内容

2023 年 10 月版における変更点については、「付録 C」の変更履歴を参照してください。

マイクロソフトは予告なくいつでもこのガイドの見直しや更新を行う権利を留保しています。

ユーザーは必ず最新版のライセンス ガイドを利用して、最新の情報を入手するようにしてください。
このガイドの最新バージョンはこちらを参照してください。

購入方法

マイクロソフト ライセンス プログラム

Power Platform サブスクリプション ライセンス
Power Platform サブスクリプション ライセンスは以下を通じて購入できます。

- Enterprise Agreement (EA)
- Enterprise Agreement Subscription (EAS)
- サーバーおよびクラウド加入契約 (SCE)
- マイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA)
- Enterprise Agreement for Government
- Enrollment for Education Solutions (EES)
- マイクロソフト パートナー
- マイクロソフトから直接
  - Power Apps
  - Power Automate
  - Power Virtual Agents
  - Power Pages

製品ライセンス

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages で直接的か間接的かにかかわらず、データの入力、照会、閲覧、その他のアクセスを行うすべてのユーザーまたはデバイスは、適切なライセンスを取得する必要があります。Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages の使用権は、Power Platform サブスクリプション ライセンス、Power Platform サブスクリプション アドオン ライセンス、および Power Platform 従量課金メーターを通じて購入できます。

Power Platform サブスクリプション ライセンス*

- Power Apps
  - Power Apps Premium
  - Power Apps per app
- Power Automate
  - Power Automate Premium
  - Power Automate per user
  - Power Automate Process
  - Power Automate per flow
- Power Virtual Agents
  - Power Virtual Agents
  - Power Virtual Agents per user
- Power Pages
  - Power Pages 認証済みユーザー
  - Power Pages 匿名ユーザー

Power Platform サブスクリプション アドオン ライセンス

- Power Automate Process Mining アドオン
- Power Automate ホスト型 RPA アドオン
- Power Automate 無人 RPA アドオン
- Power Virtual Agents キャパシティ アドオン
- AI Builder キャパシティ アドオン
- Dataverse データベース キャパシティ アドオン
- Dataverse ファイル キャパシティ アドオン
- Dataverse ログ キャパシティ アドオン
- Power Platform 要求アドオン

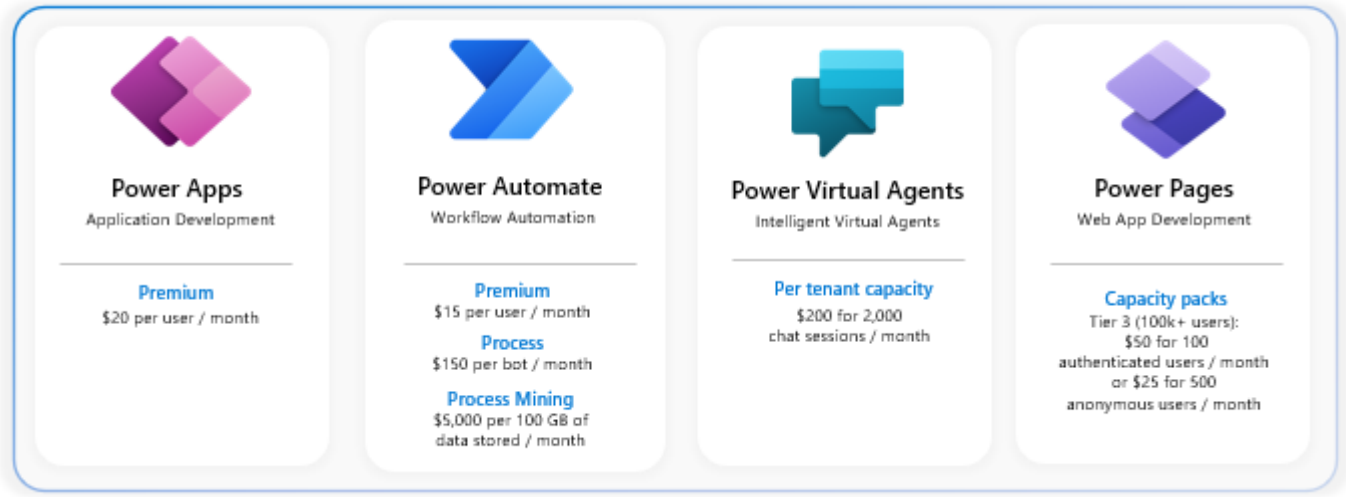
* Power Platform 製品のライセンスは、ユーザー サブスクリプション ライセンス (ユーザー SL)、ボット単位のライセンス、テナント単位のライセンス、テナント単位のキャパシティ アドオンで取得します。これらライセンスの種類は製品によって異なります。

Power Platform 従量課金メーター

- Power Apps per app メーター
- Power Pages 認証済みユーザー メーター
- Power Pages 匿名ユーザー メーター
- Dataverse データベース キャパシティ メーター
- Dataverse ファイル キャパシティ メーター
- Dataverse ログ キャパシティ メーター

Dynamics 365、Microsoft/Office 365、Windows の一部のライセンスでは、Power Platform の限定的な使用権が提供されます。詳細については、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages の使用権をまとめた表を参照してください。

Power Platform
推奨オファー



Power BI ライセンスに関する情報は、Power BI ライセンスの種類と機能を参照してください。

Power Apps Premium

Power Apps Premium は、実行するアプリの数に関係なく、ユーザーに 1 ライセンスを付与したいと考える企業に最適です。このライセンスを取得したユーザーは、無制限の数のカスタム アプリを実行でき、かつ無制限の数の Power Pages Web サイトにアクセスできます。

Power Apps の概要

		Power Apps サブスクリプション	Power Apps の使用権が含まれる	
プラン	機能	推奨モーション Power Apps Premium 20 ドル/ユーザー/月 (新規ライセンスを 2,000 以上購入する場合は 12 ドル/ユーザー/月)	一部の Dynamics 365 Professional/Enterprise ライセンス [1]	一部の Microsoft 365/Office 365 ライセンス
Power Apps	カスタム アプリの実行	無制限のアプリ	ライセンスを取得した D365 アプリと同じ環境内	無制限
	カスタム アプリ内でのワークフローの実行 [2]	アプリのコンテキスト内	アプリのコンテキスト内	●
	カスタム Web サイトの実行	無制限の Web サイト		
AI Builder	サービス クレジット [3]	500 クレジット		
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●	●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●	●	
	オンプレミスとクラウド サービスのデータ転送	●	●	
Dataverse	Dataverse へのフル アクセス	●	●	Dataverse for Teams のみ
	カスタム テーブルの作成とアクセス [4, 5]	●	Professional の場合、アプリにつき 15 個まで	
	Dataverse のデータベース キャパシティ (累積)	250 MB[6]		
	Dataverse のファイル キャパシティ (累積)	2 GB[6]		
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス [7]	●	アプリのコンテキスト内 [8]	

[1] Dynamics 365 Professional には Power Apps と Power Pages の使用権は含まれません。
[2] Power Apps に含まれる Power Automate の使用権には RPA 機能は含まれません。RPA 機能を使用するには、別途 Power Automate Premium を購入する必要があります。
[3] 累積キャパシティの上限はテナントあたり 100 万クレジットです。AI Builder サービス クレジットを追加するには、AI Builder キャパシティ アドオンを使用してください。
[4] 制限付きテーブルでの Power Apps の使用権と、サポート案件テーブルに関する例外については、Dynamics 365 のライセンスを必要とする制限付きテーブルを参照してください。
[5] Power Apps ユーザーの Dynamics 365 Field Service の使用権の例外については、Dynamics 365 ライセンス ガイドを参照してください。
[6] Dataverse のデータベースおよびファイルのキャパシティの権利はテナント レベルで累積します。追加の Dataverse のデータベース、ファイル、ログのサブスクリプション キャパシティは、Dataverse キャパシティ アドオンを使用して 1 GB 単位で購入できます。

[7] 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のすべての使用にフル ライセンスが必要です。詳細については、Power Platform のマネージド環境を参照してください。
[8] Dynamics 365 Professional ライセンスにはマネージド環境は含まれません。

Power Automate Premium

ユーザー単位の Power Automate Premium では、ライセンスを持つユーザーが、モダン アプリケーションの場合は API ベースのデジタル プロセス オートメーション (クラウド フロー)、レガシ アプリケーションの場合は UI ベースのロボティック プロセス オートメーション (デスクトップ フロー) を使用して有人モードで自動化することができます。

Power Automate Process

Power Automate Process では、1 つの「自動化ボット」にライセンスを付与して、無人モードでの UI ベースのロボティック プロセス オートメーションによるプロセスの自動化、または UI ベースのデジタル プロセス オートメーションによる自動化に使用できます。

Power Automate Process Mining

Process Mining はキャパシティ ベースのライセンスです。最適化のための重要な機会を見極め、既存のプロセスを改善することによって、顧客の ROI をすばやく向上させることができます。Process Mining は Power Automate Premium へのアドオンとして提供されます。

Power Automate の概要

		Power Automate サブスクリプション			Power Automate の使用権が含まれる			
プラン	機能	推奨モーション Power Automate Premium 15 ドル/ユーザー/月 [1]	推奨モーション Power Automate Process 150 ドル/ボット/月 [2]	推奨モーション Process Mining[3] 5,000 ドル/100 GB のデータ保存/月 [4]	Power Apps	一部の Dynamics 365 Professional/ Enterprise ライセンス	一部の Microsoft 365/ Office 365 ライセンス	Windows
Power Automate[5]	クラウド フロー (DPA): 自動化/インスタント/スケジュール済みのフロー	●	●		●[6]	●[6]	●	
	ビジネス プロセス フロー	●	●		●[6]	●[6]		
	有人デスクトップ フロー (RPA)	●						●[7]
	無人デスクトップ フロー (RPA)		●					
Process Mining	タスク マイニング	●		●				
	クラウド フロー プロセス マイニングの統合	●		●				
	プロセスの視覚化と分析	●[8, 9]		●				
共有と共同作業	他のユーザーによる自動処理の表示、編集、実行	●			●	●	●	
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●		●[6]	●[6]	●	
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●[10]	●[10]		●[6]	●[6]		
	オンプレミスとクラウド サービスのデータ転送	●	●		●[6]	●[6]		
AI Builder	サービス クレジット [11]	5,000	5,000					
Dataverse	Dataverse の使用権	●	●		●[6]	●[6]	Teams のみ	
	データベース (累積)	250 MB[12]	50 MB[12]	2 GB[12]				
	ファイル (累積)	2 GB[12]	200 MB[12]	1 TB[12]				
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス [13]	●	●		●	●[6, 14]		

1 テナントあたり月 1 ライセンスで、ユーザーまたはキャパシティがそのテナント内の任意の環境で使用できます。
2 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。
3 Process Mining の前提となるライセンスは Power Automate Premium です。対象ライセンス 1 つに対して複数のアドオンを適用できます。
4 テナントあたり月 100 GB の PM データ保存、テナントあたりのキャパシティ ベース ライセンス。
5 各フローの種類の定義については技術ドキュメントを確認してください。
6 アプリのコンテキスト内で利用可能。トリガーとアクションのどちらにおいても、埋め込みアプリ内のフローから、その埋め込みアプリの使用権内の任意のデータ ソースに接続できます。また、その埋め込みアプリにも直接接続できます。
7 Power Automate desktop からのみ。Power Automate Desktop はビジネス クリティカルな用途を意図していない無料のアプリケーションであり、SLA やマイクロソフトのサポートは提供されません。クラウド フロー、標準/プレミアム コネクタ、オーケストレーション (デスクトップ フローのスケジュールされたトリガー/自動トリガー、無人/有人、1 つの自動化でのクラウド フローとデスクトップ フローの組み合わせ)、デスクトップ フローの共有、既定とは異なる環境での開発、Automation Lifecycle Management (ALM)、モニタリング、実行ログは含まれません。
8 Power Automate Premium ライセンスには Process Mining デスクトップ アプリが含まれており、高度な分析に加えて、オプションとして Power BI を別途購入することで Power BI のカスタマイズが可能です。Power Automate Premium ライセンスに付属する Process Advisor は、プロセス マイニング機能 (構築済みテンプレート) を標準で備えていますが、カスタマイズは非常に制限されています。
9 Process Mining のデータ ストレージはユーザー ライセンス 1 つにつき 50 MB で、累積キャパシティの上限はテナントあたり 100 GB です。
10 デスクトップ フロー コネクタが含まれます (このデスクトップ フロー コネクタは、Windows ライセンスには付属しません)。
11 累積キャパシティの上限はテナントあたり 100 万クレジットです。AI Builder サービス クレジットを追加するには、AI Builder キャパシティ アドオンを使用してください。
12 Dataverse のデータベースおよびファイルのサブスクリプション キャパシティはテナント レベルでプールされます。Dataverse のデータベース/ファイル/ログの追加サブスクリプション キャパシティは 1 GB 単位で購入できます。
13 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のすべての使用にスタンドアロン ライセンスが必要です。詳細については、Power Platform のマネージド環境を参照してください。
14 Dynamics 365 Professional ライセンスにはマネージド環境は含まれません。

Power Virtual Agents

Power Virtual Agents は、テナントあたり月 2,000 件のチャット セッションのライセンスを組織に付与します。ライセンスを持つテナントでは、拡張された自然言語機能を使用してチャットボットのトピックを作成し反復実行させたり、Power Virtual Agents ボットのコンテキスト内でクラウド フローを作成したりすることができます。

Power Virtual Agents の概要

プラン	機能	Power Virtual Agents サブスクリプション 推奨モーション Power Virtual Agents * 200 ドル/テナント/月	Microsoft/Office 365 に含まれる Power Virtual Agents の使用権 一部の Microsoft/Office 365 ライセンスに含まれる Power Virtual Agents for Teams の使用権
Power Virtual Agents	すべてのチャネルへのチャットボットの展開	●	Teams のみ
	チャット セッション: セッション回数/テナント/月 [1]	2,000	無制限 [2] (Teams のみ)
	Power Virtual Agents ボットのコンテキスト内でのクラウド フローの作成 (自動化/インスタント/スケジュール済みのフロー)[3]	●	
	拡張された自然言語機能を使用した、チャットボットのトピックの作成と反復実行	●	
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●	
	オンプレミスとクラウド サービスのデータ転送	●	
Dataverse	Dataverse へのフル アクセス [4]	●	Dataverse for Teams
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス [5]	●	

[1] セッションの定義とカウント方法については、請求対象セッションの定義の表を参照してください。
[2] チャット セッションは、テナントごとに毎月無制限です。テナント内のすべてのボットで 24 時間ごとにユーザーあたり 10 セッションというサービスの上限が適用されます。詳細については、Power Virtual Agents のクォータ、制限、構成の値を確認してください。
[3] Copilot を利用した作成に関するドキュメントを参照してください。Copilot は米国でのみ利用可能です。
[4] Power Virtual Agents ライセンスにおける Dataverse の既定のキャパシティは、Dataverse データベースが 10 GB、Dataverse ファイルが 20 GB、Dataverse ログが 2 GB です。
[5] 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のすべての使用にフル ライセンスが必要です。
* 2023 年 12 月 31 日までのすべてのチャネルにおける新規および既存のお客様向けのプロモーション価格を反映しています。

Power Pages 認証済みユーザー

認証済みユーザーは、ローコードの企業 Web サイトに、ユーザーが認証された状態で安全にアクセスできるようにしたいと考える企業が、必要なライセンス数を予測できる場合に最適です。

Power Pages 匿名ユーザー

匿名ユーザーは、ローコードの企業 Web サイトに、閲覧者が匿名でアクセスできるようにしたいと考える企業が、必要なライセンス数を予測できる場合に最適です。

Power Pages の概要

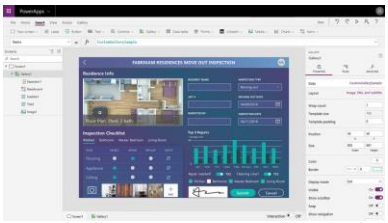
		Power Pages サブスクリプション		Power Pages の使用権が含まれる	
プラン	機能	推奨モーション Power Pages 認証済みユーザー Tier 3 (10 万ユーザー以上): 50 ドル/パック*	推奨モーション Power Pages 匿名ユーザー Tier 3 (10 万ユーザー以上) : 25 ドル/パック*	Power Apps Premium	一部の D365 Enterprise ライセンス
Power Pages	Web サイトの作成、利用、ホスト、管理	●	●	●	ライセンスを取得した D365 アプリと同じ環境内
	安全なアクセスの認証	●			
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●	●	●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●	●	●	●
Dataverse	Dataverse へのフル アクセス	●	●	●	●
	カスタム テーブルと複雑なテーブルの作成と利用 [1]	●	●	●	●
	Dataverse のデータベース キャパシティ (累積)	2 GB[2]	500 MB[2]	250 MB[3]	
	Dataverse のファイル キャパシティ (累積)	16 GB[2]	4 GB[2]	2 GB[3]	
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス [4]	●	●	●	アプリのコンテキスト内

[1] 制限付きテーブルでの Power Pages の使用権と、サポート案件テーブルに関する例外については、Dynamics 365 のライセンスを必要とする制限付きテーブルを参照してください。
[2] キャパシティ パックあたり
[3] ライセンスあたりのキャパシティ
[4] 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のすべての使用にスタンドアロン ライセンスが必要です。詳細については、Power Platform のマネージド環境を参照してください。

* 階層型の価格設定	
認証済みユーザー	匿名ユーザー
Tier 1 (100 ユーザー以上) - 200 ドル/パック	Tier 1 (500 ユーザー以上) - 75 ドル/パック
Tier 2 (1 万ユーザー以上) - 75 ドル/パック	Tier 2 (1 万ユーザー以上) - 37.50 ドル/パック
Tier 3 (10 万ユーザー以上) - 50 ドル/パック	Tier 3 (10 万ユーザー以上) - 25 ドル/パック

Power Platform
その他のオプション

Power Apps



サービスの概要

Power Apps はローコード/ノーコードのアプリケーション プラットフォームであり、チーム、部門、または組織全体向けに無制限の数のアプリを構築、最新化、展開したり、既存の Dynamics 365 アプリや Microsoft/Office 365 アプリをカスタマイズしたりすることができます。詳細については、https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/ を参照してください。

ライセンスの概要

Power Apps の汎用的なフル機能のライセンスは、ユーザー単位の Power Apps サブスクリプション、または従量課金制を通じて提供され、ライセンスを持つユーザーがビジネス アプリを作成、カスタマイズ、共有、実行することができます。このライセンスではフル機能が提供されます。

また、Dynamics 365 および Microsoft/Office 365 の一部のライセンスには、Power Apps の限定的な機能が含まれています。詳細については、このガイドの「Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Apps の使用権」「Microsoft 365/Office 365 ライセンスに含まれる Power Apps の使用権」のセクションを確認してください。

以下の表に、ライセンス体系の概要を示します。

	Power Apps Premium	Power Apps per app	Power Apps per app 従量課金
ライセンス方法	**ユーザー単位**	**ユーザー単位、アプリ単位**	**アクティブ ユーザー単位**
説明	ユーザーが**無制限の数のアプリ**を実行でき、かつ無制限の数の Power Pages Web サイトにアクセスできる	個々のユーザーが **1 つのアプリを実行するまたは 1 つの Power Pages Web サイトにアクセスできる**	ユーザーが **1 つのアプリ**にアクセスできる

Power Apps Premium

Power Apps Premium は、実行するアプリの数に関係なく、ユーザーに 1 ライセンスを付与したいと考える企業に最適です。このライセンスを取得したユーザーは、無制限の数のカスタム アプリを実行でき、かつ無制限の数の Power Pages Web サイトにアクセスできます。

ユーザー単位のオファーの概要	
SKU の名称	Power Apps Premium
ライセンスの種類	ユーザー単位

Power Apps per app

Power Apps per app のライセンスでは、個々のユーザーが Power Apps のフル機能をベースに、1 つのカスタム アプリを実行するまたは 1 つの Power Pages Web サイトにアクセスすることができます。

ユーザー単位/アプリ単位のオファーの概要	
SKU の名称	Power Apps per app
ライセンスの種類	ユーザー単位/アプリ単位のライセンス
ライセンスの併用は?	可能

Power Apps per app は、**ユーザーに対して、アプリごとまたは Web サイトごとにライセンスを付与**したい企業に最適で、柔軟にライセンスを積み増すことが可能です。アプリ単位でライセンスを取得するお客様は、一般的に、このプラットフォームを全社的に導入する前に、1～2 種類の主要なユース ケース シナリオから始めています。Power Apps per app は、少数のアプリしか実行しない、または少数の

Web サイトにしかアクセスしないエンド ユーザーにライセンスを付与する場合に魅力的なライセンス オプションです。

注:

- 1 人のユーザーに「アプリ単位」のライセンスを複数割り当てることも可能です。その場合、ユーザー単位のライセンスを取得する必要はなく、さまざまなビジネス シナリオを対象とした複数のソリューションを使用できます。
- Power Apps per app のライセンスを複数購入したら、それぞれのライセンスを特定の環境と個々のユーザーに割り当てる必要があります (2 つの環境に同じアプリまたは Web サイトが存在する場合、両方の環境にアクセスするには、ユーザーが 2 つの per app ユーザー SL を取得している必要があります)。
- また、対象となる教育機関のお客様は、Power Apps per app を教職員および学生向け料金で購入できます。これらのライセンスはテナント レベルのキャパシティとして販売され、Active Directory のユーザーには割り当てられないため、お客様やパートナーが責任を持って、学生向け料金が学生のみに適用されていることを確認する必要があります。

Power Apps per app 従量課金メーター

Power Apps per app メーターでは、個々のユーザーが 1 つのカスタム アプリを実行できます。このオプションは、月に 1 回以上 1 つの Power Apps アプリにアクセスするユーザーの**使用分だけを従量課金で支払いたい企業に最適**です。

Power Apps per app 従量課金オファーの概要	
SKU の名称	Power Apps Per App Active User-1
メーターの名称	Power Apps per app メーター

Power Apps per app 従量課金メーターの定義: 月に 1 回以上、環境内の 1 つの従量課金対象アプリを開いたアクティブなユニーク ユーザーの数をカウントします。

Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Apps の使用権

ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリケーションと同じ環境内には Power Apps の限定的な使用権が含まれており、ユーザーが Dynamics 365 アプリケーションをカスタマイズ、拡張することができます。Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Apps の機能の使用は、ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリケーションと同一の環境における、そのコンテキスト内に制限されています。使用権は Dynamics 365 ライセンスの種類によって異なります。

Microsoft 365/Office 365 ライセンスに含まれる Power Apps の使用権

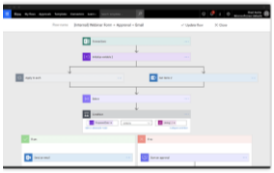
一部の Microsoft 365/Office 365 ライセンスには Power Apps の限定的な使用権が含まれており、ユーザーが Microsoft 365/Office 365 をカスタマイズ、拡張して生産性シナリオを実現したり、Microsoft Teams 向けの包括的なローコード拡張プラットフォームを利用したりすることができます。Power Apps と Dataverse for Teams の使用権が含まれる Microsoft 365 および Office 365 のライセンスの全一覧は、「付録 B」を参照してください。

Power Apps の概要

プラン	機能	Power Apps サブスクリプション	Power Apps サブスクリプション	Power Apps per app 従量課金	Power Apps の使用権が含まれる	
		推奨モーション Power Apps Premium 20 ドル/ユーザー/月 (新規 per user ライセンスを 2,000 以上購入する場合は 12 ドル/ユーザー/月)	Power Apps per app 5 ドル/ユーザー/月	Power Apps per app メーター[1] 10 ドル/アクティブ ユーザー/アプリ/月	一部の D365 Professional/ Enterprise ライセンス [2]	一部の Microsoft 365/Office 365 ライセンス
Power Apps	カスタム アプリの実行	無制限のアプリ	1 つのアプリまたは 1 つの Web サイト	1 つのアプリ	ライセンスを取得した D365 アプリと同じ環境内	無制限
	カスタム Web サイトの実行	無制限の Web サイト				
	カスタム アプリ内でのワークフローの実行 [3]	●[4]	●[4]	●[4]	●[4]	●
AI Builder	サービス クレジット [5]	500 クレジット	250 クレジット			
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●	●	●	●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●	●	●	●	
	オンプレミスとクラウド サービスのデータ転送	●	●	●	●	
Dataverse	Dataverse へのフル アクセス	●	●	●	●	Dataverse for Teams のみ
	カスタム テーブルの作成と利用 [6、7]	●	●	●	Professional の場合、アプリにつき 15 個まで	
	Dataverse のデータベース キャパシティ (累積)	250 MB[8]	50 MB[8]			
	Dataverse のファイル キャパシティ (累積)	2 GB[8]	400 MB[8]			
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス [9]	●	●		●[4、10]	

1 Power Platform 従量課金を使用するように構成された環境には、環境につき 1 GB の Dataverse データベース キャパシティと 1 GB の Dataverse ファイル キャパシティの権利が一度だけ提供されます。Dataverse のデータベース/ファイル/ログの追加サブスクリプション キャパシティは 1 GB 単位で購入できます。
2 Dynamics 365 Professional には Power Apps または Power Pages の使用権は含まれません。
3 Power Apps に含まれる Power Automate の使用権には RPA 機能は含まれません。RPA 機能を使用するには、別途 Power Automate Premium を購入する必要があります。
4アプリのコンテキスト内
5 累積キャパシティの上限はテナントあたり 100 万クレジットです。AI Builder サービス クレジットを追加するには、AI Builder キャパシティ アドオンを使用してください。
6 制限付きテーブルでの Power Apps の使用権と、サポート案件テーブルに関する例外については、Dynamics 365 のライセンスを必要とする制限付きテーブルを参照してください。
7 Power Apps ユーザーの Dynamics 365 Field Service の使用権の例外については、Dynamics 365 ライセンス ガイドを参照してください。
8 Dataverse データベースおよび Dataverse ファイル キャパシティの権利はテナント レベルで累積します。Dataverse のデータベース/ファイル/ログの追加サブスクリプション キャパシティは、Dataverse キャパシティ アドオンを通じて 1 GB 単位で購入できます。
9 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のすべての使用にフル ライセンスが必要です。詳細については、Power Platform のマネージド環境を参照してください。
10 Dynamics 365 Professional ライセンスにはマネージド環境は含まれません。

Power Automate



サービスの概要

Power Automate を使用すると、企業はワークフローやビジネス プロセスを自動化し、業務効率を向上できます。詳細については、https://powerautomate.microsoft.com/ja-jp/ を参照してください。

ライセンスの概要

Power Automate の汎用的な機能は、Power Automate サブスクリプション ライセンスを通じて提供されます。また、Power Apps、Dynamics 365、Microsoft/Office 365、Windows のライセンスには、Power Automate の限定的な機能が含まれています。詳細については、このガイドの「Power Apps ライセンスに含まれる Power Automate の使用権」「Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権」「Microsoft 365/Office 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権」「Windows ライセンスに含まれる Power Automate の使用権」の各セクションを確認してください。

以下の表に、ライセンス体系の概要を示します。

Power Automate	Premium	per user	Process	per flow (最小要件 5 ライセンス)	Process Mining (PM)	ホスト型 RPA アドオン	無人 RPA アドオン
ライセンス方法	ユーザー/月 [1]	ユーザー/月 [1]	ボット/月 [2]	フロー/月 [2]	100 GB の PM データ保存/月 [3]	ボット/月 [2]	ボット/月 [2]
説明	ライセンスを持つユーザーが、モダン アプリケーションの場合は API ベースのデジタル プロセス オートメーション (クラウド フロー)、レガシ アプリケーションの場合は UI ベースのロボティック プロセス オートメーション (デスクトップ フロー) を使用して有人モードで自動化することができます。	企業が個々のユーザーにライセンスを付与して無制限の数のクラウド フローを作成できるようにしたい場合に適しています。	ライセンスを 1 つの「自動化」ボットに付与し、無人のロボティック プロセス オートメーション (無人 RPA) に使用する、または、組織内の無制限の数のユーザーがアクセスできるデジタル プロセス オートメーション (DPA) を使用したクラウド フローに使用することができます。	企業が、予約したキャパシティでフローを実装し、組織全体で無制限の数のユーザーが利用できるようにしたい場合に適しています。	キャパシティ ベースのライセンス。最適化のための重要な機会を見極め、既存のプロセスを改善することで、顧客の ROI をすばやく向上させることができます。Power Automate Premium へのアドオンです。	Power Automate Premium へのアドオン。ユーザーがホスト型マシンを利用して、サービスとしてのロボティック プロセス オートメーション (RPA) を実行できるようになります。	Power Automate Premium または Power Automate per flow へのアドオン。ローカル リモート デスクトップまたは仮想化環境でボットを自動実行できます。

[1] テナントあたり月 1 ライセンスで、ユーザーまたはキャパシティがそのテナント内の任意の環境で使用できます。
[2] 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。
[3] テナントあたり月 100 GB の PM データ保存、テナントあたりのキャパシティ ベース ライセンス。

Power Automate Premium

Power Automate Premium は、モダン アプリとレガシ アプリのいずれにも対応します。ライセンスを持つユーザーは、デジタル プロセス オートメーション (DPA) を利用したクラウド フローを数の制限なく作成、実行でき、さらに有人モードのロボティック プロセス オートメーション (RPA) を利用したデスクトップ フローによってレガシ アプリを自動化できます。このライセンスには、Process Mining のすべてのデスクトップ機能と、Process Mining のデータ ストレージ (50 MB まで) が含まれます。また、フォーム処理、物体検出、予測、テキスト分類、テキスト認識などのシナリオをサポートする AI Builder 機能も利用できるほか、ワークステーション上で有人 RPA ボットを実行する機能も提供されます。

なお、無人のシナリオで RPA ボットを実行するには、Power Automate ホスト型 RPA アドオンを追加する必要があります。

Power Automate Premium	
SKU の名称	Power Automate Premium
ライセンスの種類	ユーザー単位*
クラウドフロー[1] (自動化/インスタント/スケジュール済み/ビジネス プロセスのフロー)	無制限
デスクトップ フロー (有人 RPA ボットを含む)[2]	1 つのボット
付属の AI Builder サービス クレジット	5,000/月
付属の Process Mining データ ストレージ	50 MB/ユーザー ライセンス、最大 100 GB/テナント

[1] 各フローの種類の定義については技術ドキュメントを確認してください。

[2] RPA ボットを実行するために複数のデスクトップ フローを作成/記録できます。ただし、ボットは一度に 1 つの個別のデスクトップ フロー (プロセス) しか実行できません。複数のプロセスはシリアル化して、順に実行する必要があります。

* テナントあたり月 1 ライセンスで、ユーザーまたはキャパシティがそのテナント内の任意の環境で使用できます。

注:

- このオファーには、デスクトップ フローの作成、ボットのオーケストレーションと管理が含まれます。
- ボットは同じワークステーションでユーザーと同時に動作する必要があります。ボットは複数のプロセス (デスクトップ フロー) を実行できますが、各プロセスをシリアル化して順に実行する必要があります。
- 追加の AI Builder のキャパシティは 100 万件のサービス クレジットごとに 500 ドル/月で購入できます。AI Builder サービス クレジットのキャパシティはテナント レベルでプールされます。

Power Automate per user

Power Automate per user では、個々のユーザーが独自のニーズに基づいて、**無制限**の数のワークフローとビジネス プロセスを作成、実行できます。このユーザー単位のライセンスは、自動化という文化の全社的な導入をサポートすることを目的としています。組織全体で Power Automate per user ライセンスを取得すれば、管理者が組織内でライセンス認証/使用されているフローの数を追跡する負担を最小限に抑えることができます。

ユーザー単位のオファーの詳細	
SKU の名称	Power Automate per user
ライセンスの種類	ユーザー単位*
フローの有効化	無制限

* テナントあたり月 1 ライセンスで、ユーザーまたはキャパシティがそのテナント内の任意の環境で使用できます。

Power Automate Process

Power Automate Process では、1 つの自動化ボットにライセンスを付与して、無人ロボティック プロセス オートメーション (無人 RPA)、または組織内の無制限の数のユーザーがアクセスするビジネス クリティカルなプロセス (フロー) に使用することができます。また、フォーム処理、物体検出、予測、テキスト分類、テキスト認識などのシナリオをサポートする AI Builder 機能も利用できるほか、ワークステーション上で有人 RPA ボットを実行する機能も提供されます。

プロセス単位のライセンスであるため、エンド ユーザーごとに個別にライセンスを取得することなく、コア ビジネス プロセスとキャパシティを実装して、チーム、部門、組織全体で利用できるようにすることが可能です。このライセンスは部門レベルでの利用に適しています。

- たとえば、部門内の 1 人のパワー ユーザーがプロセスやフローをセットアップし、それをグループ内で共有する場合、
- または、DevOps パイプラインを使用して複数の環境 (開発/テスト/運用) に展開する場合などです。

Power Automate Process	
SKU の名称	Power Automate Process
ライセンスの種類	ボット単位*
付属の AI Builder サービス クレジット	5,000/月
最小初期購入要件	なし

* 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。

- すべての種類の**有効化された最上位のフロー**について、ライセンスを取得する必要があります (スケジュール済みのフロー、自動化されたフロー、インスタント フロー、ビジネス プロセス フロー)。「子」フローのみとして使用されるフロー (別のフローによってトリガーされるフロー) には、追加のライセンスを取得する必要はありません。
- 最上位のフローのライセンスを増やしたい場合は、Power Automate Process ライセンスを追加で購入してください。

注: ライセンスの種類に関係なく、スケジュール済みのフローは 1 分おきにトリガーするように構成できます。コネクタでサポートされる範囲外においては、フロー実行の頻度に制限はありません。

Power Automate per flow

Power Automate per flow はフロー単位のライセンスであり、重要なビジネス プロセスとキャパシティを実装して、チーム、部門、組織全体で利用することができます。そのため、ライセンスを取得したフローをトリガーするエンド ユーザーごとに個別にライセンスを取得する必要はありません。

フロー単位のオファーの詳細	
SKU の名称	Power Automate per flow
ライセンスの種類	フロー単位*
最小初期購入要件	5 つ

* 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。
同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。

- すべての種類の**有効化された最上位のフロー**について、ライセンスを取得する必要があります (スケジュール済みのフロー、自動化されたフロー、インスタント フロー、ビジネス プロセス フロー)。「子」フローのみとして使用されるフロー (別のフローによってトリガーされるフロー) には、追加のライセンスを取得する必要はありません。
- 最上位のフローのライセンスを増やしたい場合は、「Power Automate per flow」を追加購入してください。

注: ライセンスの種類に関係なく、スケジュール済みのフローは 1 分おきにトリガーするように構成できます。コネクタでサポートされる範囲外においては、フロー実行の頻度に制限はありません。

Power Automate Process Mining

Process Mining はキャパシティ ベースのライセンスです。最適化のための重要な機会を見極め、既存のプロセスを改善することによって、顧客の ROI をすばやく向上させることができます。テナントあたりのユーザー数に制限はありません。

キャパシティの購入は、12 か月の契約期間におけるピーク時の使用量に合わせる必要があります。毎月または季節的に使用量が急増する場合、その高い「基準値」を考慮に入れて月あたりの必要量を見積もり、十分なキャパシティを購入する必要があります。

Process Mining アドオン	
SKU の名称	Power Automate Process Mining
ライセンスの種類	100 GB の PM データ保存/月*
対象の基本ライセンス	Power Automate Premium
ライセンスあたりのキャパシティ	100 GB のデータ保存/月

* テナントあたり月 100 GB の PM データ保存、テナントあたりのキャパシティ ベース ライセンス。

Power Automate ホスト型 RPA アドオン

ホスト型 RPA は、ボットを自律的に、つまり、ユーザーから独立して実行できるようにして、デスクトップ ベースの自動化を拡張します。無人ボットは、仮想化されたマシン、または仮想化環境で展開できます。ホスト型 RPA ライセンス 1 つにつき、マイクロソフトがホストするボット マシン 1 つに対するキャパシティを提供します。基本ライセンスである Power Automate Premium または Power Automate Process を保有している場合に、ホスト型 RPA アドオンを購入できます。対象の基本ライセンス 1 つに対して複数のホスト型 RPA アドオン ライセンスを追加することが可能です。

注: Power Automate ホスト型 RPA アドオンは、ボットを実行するライセンスです。単一のプロセスで複数のインスタンスを並行して実行するには、インスタンスごとに追加の無人ボットが必要になります。

Power Automate ホスト型 RPA アドオン	
SKU の名称	Power Automate ホスト型 RPA アドオン
ライセンスの種類	ボット単位*
対象の基本ライセンス	Power Automate Premium、Power Automate Process
付属の AI Builder サービス クレジット	5,000/月
追加のライセンスが必要な場合あり	無人ボットでソフトウェアを自動化するには、ソフトウェアの条件に従って追加のライセンスが必要となる場合があります。たとえば、M/O365 を組み込む無人 RPA シナリオでは、Microsoft 365 の無人ライセンスが必要です。詳細については、製品条項を確認してください。

* 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。

- 1 つのホスト型 RPA アドオン ライセンスには、1 つのホスト型 RPA ボットの権利とホスティング サービスに加え、デスクトップ フローの作成、ボットのオーケストレーションと管理に紐付けられるすべての必要な機能が含まれます。
- 追加の AI Builder のキャパシティは 100 万件のサービス クレジットごとに 500 ドル/月で購入できます。AI Builder サービス クレジットのキャパシティはテナント レベルでプールされます。
- 無人ボットがアクセスするサービスやアプリケーションを利用するには、別途ライセンスの取得が必要です。たとえば、ボットが Windows や Office にアクセスしている場合、Power Automate ホスト型 RPA アドオンに加えて、Microsoft 365 無人ライセンスも購入する必要があります。

Power Automate 無人 RPA アドオン

Power Automate 無人 RPA アドオンは、ボットを自律的に、つまり、ユーザーから独立して実行できるようにして、デスクトップ ベースの自動化を拡張します。無人ボットは、ローカル、リモート デスクトップ、その他の仮想化環境で展開できます。基本ライセンスである Power Automate Premium または Power Automate per flow を保有している場合に、無人 RPA アドオンを購入できます。対象の基本ライセンス 1 つに対して複数の無人 RPA アドオン ライセンスを追加することが可能です。

注: Power Automate 無人 RPA アドオンは、ボットを実行するライセンスです。単一のプロセスで複数のインスタンスを並行して実行するには、インスタンスごとに追加の無人ボットが必要になります。

Power Automate 無人 RPA アドオン	
SKU の名称	Power Automate 無人 RPA アドオン
ライセンスの種類	ボット単位*
対象の基本ライセンス	Power Automate Premium、Power Automate per flow
付属の AI Builder サービス クレジット	5,000/月
追加のライセンスが必要な場合あり	無人ボットでソフトウェアを自動化するには、ソフトウェアの条件に従って追加のライセンスが必要となる場合があります。たとえば、M/O365 を組み込む無人 RPA シナリオでは、Microsoft 365 の無人ライセンスが必要です。詳細については、製品条項を確認してください。

* 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。

- 1 つの無人 RPA アドオン ライセンスには 1 つの無人 RPA ボットの権利だけでなく、デスクトップ フローの作成、ボットのオーケストレーションと管理に紐付けられるすべての必要な機能が含まれます。
- VM で無人 RPA ボットを実行するには、必要条件を満たしたコンピューティング リソースを別途購入する必要があります。
- 追加の AI Builder のキャパシティは 100 万件のサービス クレジットごとに 500 ドル/月で購入できます。AI Builder サービス クレ

ジットのキャパシティはテナント レベルでプールされます。
- 無人ボットがアクセスするサービスやアプリケーションを利用するには、別途ライセンスの取得が必要です。たとえば、ボットが Windows や Office にアクセスしている場合、Power Automate 無人 RPA アドオンに加えて、Microsoft 365 無人ライセンスも購入する必要があります。

Power Apps ライセンスに含まれる Power Automate の使用権

Power Apps Premium、Power Apps per app、Power Apps 従量課金のライセンスには、Power Automate の使用権が含まれており、Power Apps アプリケーションに関連付けられたワークフローを自動化するために使用できます。Power Apps 内での Power Automate の使用は、Power Apps アプリケーションのコンテキスト内に制限されています。つまり、トリガーとアクションの両方において、Power Apps アプリケーションに含まれるフローは以下に接続できます。
- Power Apps アプリケーションの使用権に含まれるデータ ソース
- Power Apps アプリケーション本体 (組み込みのトリガー/アクションを使用)

フローが分離されていて Power Apps アプリケーションとは関係がない場合は、Power Automate のフル ライセンスを購入する必要があります。

Power Apps アプリケーションのコンテキスト内の Power Automate の使用例
Power Apps のフル ライセンスを取得しているユーザーが、データ ソースとして SQL Database を使用し、以下に該当するフローを含むアプリを実行する場合。
- SQL Database の読み取りまたは書き込みを行う
- 組み込みの Power Apps トリガー/アクションを使用する (アプリへのプッシュ通知の送信など)

Power Apps アプリケーションのコンテキスト外の Power Automate の使用例
上記の例と同じユーザーが、Oracle データベースを更新するフローを使用したいと考えており、そのフローが以下に該当する場合。
- Power Apps アプリとは関係がない
- Power Apps アプリ (またはそのデータ ソース) とのやり取りが一切ない

この場合は、Power Automate のフル ライセンスが必要になります。

Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権

Dynamics 365 ライセンスには Power Automate の使用権が含まれており、Dynamics 365 アプリケーションをカスタマイズおよび拡張するために使用できます。Dynamics 365 内での Power Automate の使用は、フローを埋め込む Dynamics 365 アプリケーションのコンテキスト内に制限されています。トリガーとアクションの両方について、Dynamics 365 アプリケーションに含まれるフローは以下に接続できます。
- Dynamics 365 アプリケーションの使用権に含まれる任意のデータ ソース
- Dynamics 365 アプリケーション本体 (組み込みのトリガー/アクションを使用)

埋め込んだフローが Dynamics 365 アプリケーションのコンテキスト外の場合は、Power Automate のフル ライセンスを購入する必要があります。

Microsoft 365/Office 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権

一部の M/O365 ライセンスには Power Automate の限定的な使用権が含まれており、ユーザーが M/O365 をカスタマイズ、拡張して生産性シナリオを実現したり、Microsoft Teams 向けの包括的なローコード拡張プラットフォームを利用したりすることができます。Power Automate と Dataverse for Teams の使用権が含まれる M/O365 ライセンスの全一覧は、「付録 B」を参照してください。

Windows ライセンスに含まれる Power Automate の使用権

一部の Windows ライセンスには Power Automate の限定的な使用権が含まれており、Power Automate Desktop の RPA 機能を利用した個人レベルのデスクトップ オートメーションの構築と実行が可能です。これにより、ワークフローを遅くする可能性のあるレガシ タスクを、デジタル ワーカーによってさらに自動化できるようになるため、Windows ユーザーは RPA によるロー コードの自動化を利用して、冗長で時間のかかるタスクの自動化に着手できます。これらの使用権が含まれる Windows ライセンスの一覧については、「付録 B」を参照してください。

Windows での Power Automate の使用は、すべてのアプリケーションと Web サイト (すべての Web ブラウザー) で可能です。エンタープライズ レベルの自動化と管理者の権限は、Windows では利用できません。

Power Automate の概要

プラン	機能	Power Automate サブスクリプション				Power Automate アドオン			Power Automate の使用権が含まれる			
		推奨モーション Power Automate Premium 15 ドル/ユーザー/月 [1]	推奨モーション Power Automate Process 150 ドル/ボット/月 [2]	推奨モーション Power Automate Process Mining[3] 5,000 ドル/ 100 GB のデータ保存 [4]	Power Automate per user 15 ドル/ユーザー/月 [1]	Power Automate per flow 100 ドル/フロー/月 [2] (最小購入ライセンス数 5)	ホスト型 RPA アドオン [5] 215 ドル/ボット/月 [2]	無人 RPA アドオン [5] 150 ドル/ボット/月 [2]	Power Apps	一部の D365 ライセンス	一部の M365/O365 ライセンス	Windows
Power Automate[6]	クラウド フロー (自動化/インスタント/スケジュール済みのフロー)	●	●		●	●		●	●[7]	●[7]	●	
	ビジネス プロセス フロー	●	●		●	●		●	●[7]	●[7]		
	有人デスクトップ フロー	●										●[8]
	無人デスクトップ フロー		●				●	●				
Process Mining	タスク マイニング	●		●								
	クラウド フロー プロセス マイニングの統合	●		●								
	プロセスの視覚化と分析	●[9, 10]		●	●							
共有と共同作業	他のユーザーによる自動処理の表示、編集、実行	●			●				●	●	●	
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●		●	●			●[7]	●[7]	●	
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●[11]	●[11]		●	●[11]			●[7]	●[7]		
	オンプレミスとクラウド サービスのデータ転送	●	●		●	●			●[7]	●[7]		
AI Builder	サービス クレジット [12]	5,000	5,000				5,000	5,000				
Dataverse	Dataverse の使用権	●	●		●	●			●[7]	●[7]	Teams 内のみ	
	データベース キャパシティ (累積)	250 MB[13]	50 MB[13]	2 GB[13]	250 MB[13]	50 MB[13]						
	ファイル キャパシティ (累積)	2 GB[13]	200 MB[13]	1 TB[13]	2 GB[13]	200 MB[13]						
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス [14]	●	●		●	●			●	●[7, 15]		

1 テナントあたり月 1 ライセンスで、ユーザーまたはキャパシティがそのテナント内の任意の環境で使用できます。
2 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。
3 Process Mining の前提となるライセンスは Power Automate Premium です。対象ライセンス 1 つに対して複数のアドオンを適用できます。
4 テナントあたり月 100 GB の PM データ保存、テナントあたりのキャパシティ ベース ライセンス。
5 前提となるライセンス: ホスト型 RPA は、Power Automate Premium、Power Automate Process、Power Automate per flow。無人 RPA アドオンは、Power Automate Premium、Power Automate per flow。対象ライセンス 1 つに対して複数のアドオンを適用できます。
6 各フローの種類の定義については技術ドキュメントを確認してください。
7 アプリのコンテキスト内で利用可能です。トリガーとアクションのどちらにおいても、埋め込みアプリ内のフローから、その埋め込みアプリの使用権内の任意のデータ ソースに接続できます。また、その埋め込みアプリにも直接接続できます。

8 Power Automate desktop からのみ。Power Automate Desktop はビジネス クリティカルな用途を意図していない無料のアプリケーションであり、SLA やマイクロソフトのサポートは提供されません。クラウド フロー、標準/プレミアム コネクタ、オーケストレーション (デスクトップ フローのスケジュールされたトリガー/自動トリガー、無人/有人、1 つの自動化でのクラウド フローとデスクトップ フローの組み合わせ)、デスクトップ フローの共有、既定とは異なる環境での開発、Automation Lifecycle Management (ALM)、モニタリング、実行ログは含まれません。

9 Power Automate Premium ライセンスには Process Mining デスクトップ アプリが含まれており、高度な分析に加えて、オプションとして Power BI を別途購入することで Power BI のカスタマイズが可能です。Power Automate Premium ライセンスに付属する Process Advisor は、プロセス マイニング機能 (構築済みテンプレート) を標準で備えていますが、カスタマイズは非常に制限されています。

10 Process Mining のデータ ストレージはユーザー ライセンス 1 つにつき 50 MB で、累積キャパシティの上限はテナントあたり 100 GB です。

11 デスクトップ フロー コネクタが付属しています(このデスクトップ フロー コネクタは、Windows ライセンスには付属しません)。

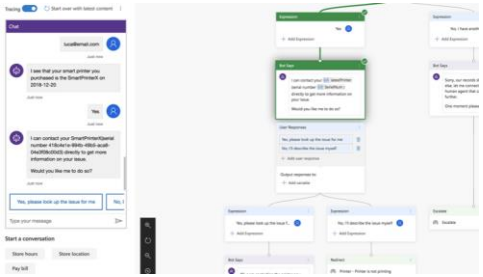
12 累積キャパシティの上限はテナントあたり 100 万クレジットです。AI Builder の追加キャパシティは、AI Builder キャパシティ アドオンを通じて 100 万件のサービス クレジットごとに 500 ドル/月で購入できます。

13 Dataverse のデータベースおよびファイルのサブスクリプション キャパシティは、テナント レベルでプールされます。Dataverse のデータベース/ファイル/ログの追加サブスクリプション キャパシティは 1 GB 単位で購入できます。

14 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のすべての使用にフル ライセンスが必要です。

15 Dynamics 365 Professional ライセンスにはマネージド環境は含まれません。詳細については、Power Platform のマネージド環境を参照してください。

Power Virtual Agents



サービスの概要

Power Virtual Agents では、ガイド付きでコード不要のグラフィカル インターフェイスを使用して、強力なボットを簡単に作成することができます。データ サイエンティストや開発者の力を借りる必要はありません。既成コネクタを使用してボットを数百のアプリやサービスに簡単に統合したり、Power Automate でカスタム ワークフローを作成したりすれば、ボットがお客様の代わりにアクションを実行できるようになります。ユーザーは、わかりやすいダッシュボードに表示される AI 駆動型およびデータ駆動型のインサイトを使用して、ボットのパフォーマンスを監視し、継続的に改善できます。詳細については、https://powervirtualagents.microsoft.com/ja-jp/ を参照してください。

Power Virtual Agents を使用すると、ボットを公開して、複数のプラットフォームやチャネルで顧客エンゲージメントを高めることができます。たとえば、Web サイト、モバイル アプリ、Microsoft Teams のようなメッセージング プラットフォームでリアルタイムにやり取りできます。チャネルの詳細については、こちらの公開ドキュメントを参照してください。

ライセンスの概要

Power Virtual Agents アプリケーションでは、テナント単位でライセンスが提供されます。Power Virtual Agents の料金は「請求対象セッション」[1] 単位で請求されます (定義については以下を参照)。

テナント単位のオファーの概要	
SKU の名称	Power Virtual Agent
ライセンスの種類	テナント ライセンス

Power Virtual Agents でボットを作成するユーザー 1 人につき、1 つの Power Virtual Agents ユーザー ライセンスを取得する必要があります。このライセンスは、管理者が管理ポータルから追加コストなしでユーザーに割り当てることができます。マイクロソフトは、Power Virtual Agents のオンボーディングを簡素化するために、単一取引の一部としてテナント ライセンス (必要な場合、キャパシティ アドオンも) とユーザー ライセンスを取得することを推奨します。

請求対象セッションの定義: 請求対象セッションとは、ユーザーとボットのやり取りを指し、消費量の単位として使用されます。請求対象セッションは、ユーザーのトピックがトリガーされた時点で開始され、ユーザーの質問に回答した場合、あるいは会話が 60 分またはやり取りが 100 回*を超えた場合のいずれかの条件を満たした時点で終了となります。60 分を超過した、またはやり取りが 100 回を超えた場合でもエンド ユーザーのエクスペリエンスに影響はなく、レポートを作成する場合に別の請求対象セッションとしてカウントされるだけです。

* 1 回のやり取りとは、ユーザーとボット間の 1 つのやり取りを指します (ユーザーがボットにメッセージを送信してボットが返信するか、その逆の場合)。1 回の請求対象セッションは通常、複数のやり取りで構成されます。詳細については、こちらのページを参照してください。

Power Virtual Agents の概要

プラン	機能	Power Virtual Agents サブスクリプション 推奨モーション Power Virtual Agents の権利 200 ドル/テナント/月*	M/O365 に含まれる Power Virtual Agents の使用権 一部の Microsoft/Office 365 ライセンスに含まれる Power Virtual Agents for Teams の使用権
Power Virtual Agents	すべてのチャネルへのチャットボットの展開	●	Teams のみ
	チャット セッション: セッション回数/テナント/月 [1]	2,000	無制限 [2] (Teams のみ)
	Power Virtual Agents ボットのコンテキスト内でのクラウド フローの作成 (自動化/インスタント/スケジュール済みのフロー)	●	●
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●	
	オンプレミスとクラウド サービスのデータ転送	●	
Dataverse[3]	Dataverse へのフル アクセス	●	Dataverse for Teams
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス [4]	●	

[1] セッションの定義とカウント方法については、請求対象セッションの定義の表を参照してください。テナント単位の追加のチャット セッションは、Power Virtual Agents キャパシティ アドオンを通じて 100 ドル/テナント/月で購入できます* (SKU の名称: Virtual Agents 用チャット セッション)。
[2] チャット セッションは、テナントごとに毎月無制限です。テナントのすべてのボットで 10 セッション/ユーザー/24 時間というサービスの上限が適用されます。詳細については、Power Virtual Agents のクォータ、制限、構成の値を確認してください。
[3] Power Virtual Agents ライセンスにおける Dataverse の既定のキャパシティは、Dataverse データベースが 10 GB、Dataverse ファイルが 20 GB、Dataverse ログが 2 GB です。
[4] 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のすべての使用にフル ライセンスが必要です。
* 2023 年 12 月 31 日までのすべてのチャネルにおける新規および既存のお客様向けのプロモーション価格を反映しています。

キャパシティの適用

購入した Power Virtual Agents キャパシティはすべて月単位で適用され、未使用のセッションは翌月に繰り越されません。正当な理由があって時おり超過する分には構いませんが、購入したキャパシティを超過する場合は、コンプライアンスを維持するために、標準的なマイクロソフトの使用条件に従って購入数量を調整してください。お客様による Power Virtual Agents のキャパシティ管理をサポートするために、包括的な監視、レポート、アラート メカニズムが導入されます。使用量が購入したキャパシティを大幅に超える場合には、より厳格な技術的対応 (サービス拒否など) が行われます。

Microsoft 365/Office 365 ライセンスに含まれる Power Virtual Agents for Teams の使用権

一部の M/O365 ライセンスでは、Power Virtual Agents for Teams を使用して Teams 内で直接、Dataverse for Teams を使ったカスタム チャットボットを構築、展開することができます。Power Virtual Agents for Teams の使用権が含まれる M/O365 ライセンスの全一覧は、「付録 B」を参照してください。

Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Virtual Agents の使用権

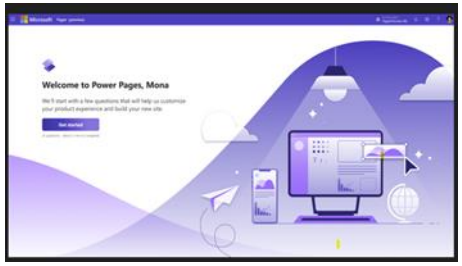
一部の Dynamics 365 ライセンスには Power Virtual Agents の限定的な使用権とセッション キャパシティが含まれており、Dynamics 365 アプリケーションを拡張するために使用できます。これらの権利に関する情報は Dynamics 365 ライセンス ガイドを参照してください。

Power Virtual Agents キャパシティ アドオン

Power Virtual Agents キャパシティ アドオンを利用して、テナントあたりのチャットボット セッション数を引き上げることができます。

オファーの詳細	
SKU の名称	Virtual Agents 用チャット セッション
購入要件	**Power Virtual Agents**
キャパシティの権利	テナントあたり月 1,000 回

Power Pages



サービスの概要

Power Pages は、モダンな外部向けのビジネス Web サイトを作成、ホスト、管理できる、安全なエンタープライズ クラスのプラットフォームを提供します。詳細については、https://powerpages.microsoft.com/ja-jp/ を参照してください。

ライセンスの概要

Power Pages のライセンスは、認証済みユーザーと匿名ユーザーという 2 つのユーザー タイプに基づいて、Web サイト/月で提供されます。月単位で、Web サイトにアクセスするユニーク ユーザーの総数をカバーするのに十分なユーザー キャパシティを割り当てる必要があります。

- **認証済みユーザーの定義:** Power Pages の認証済みユーザーとは、Web サイトの認証プロバイダー経由でログインして、その Web サイトに安全にアクセスするユーザーのことです。
- **匿名ユーザーの定義:** Power Pages の匿名ユーザーとは、ログインせずに Web サイトにアクセスするユーザーのことです。

Power Pages

すべての Power Pages ライセンスに Power Pages のフル機能が含まれています。リッチかつインタラクティブなデータ ファーストのビジネス Web アプリをグローバルに作成し、ホストし、管理するための本格的な汎用 Power Pages Web サイトが必要な場合は、Power Pages キャパシティ パックの購入を検討してください。

Power Pages 認証済みユーザー サブスクリプション

認証済みユーザー サブスクリプション ライセンスは、Web サイトにアクセスする一意の認証済みユーザーの数に応じて購入します。このライセンスはキャパシティ パック (1 キャパシティ パックで 100 ユーザー分) として提供されます。価格は 3 段階で設定されています。最小購入要件を一度満たせば、追加のパックは 1 パック単位で購入できます。

Power Pages 認証済みユーザー キャパシティ パック

キャパシティ パックのレベル	キャパシティ パックの最小購入数	総ユーザー数 (1 キャパシティ パックで 100 ユーザー)	価格
Tier 1	1 パック	100 ユーザー以上	200 ドル/パック
Tier 2	100 パック	10,000 ユーザー以上	75 ドル/パック
Tier 3	1,000 パック	100,000 ユーザー以上	50 ドル/パック

月あたり Power Pages の各 Web サイトにアクセスする認証済みユーザーの数を予測し、それを満たす数のキャパシティ パック ライセンスを購入する必要があります。未使用のキャパシティは翌月に持ち越されません。注: 認証済みユーザーのキャパシティは環境に割り当てる必要があります。

認証済みユーザー単位のオファーの詳細	
SKU の名称	Power Pages サイトあたりの認証済みユーザー
ライセンスの種類	認証済みユーザー/Web サイト単位

Power Pages 匿名ユーザー サブスクリプション

匿名ユーザーのサブスクリプション ライセンスは、匿名ユーザー (ログインせずに Web サイトにアクセスするユーザー) の数に応じて購入します。このライセンスはキャパシティ パック (1 キャパシティ パックで 500 ユーザー分) として提供されます。価格は 3 段階で設定されています。最小購入要件を一度満たせば、追加のパックは 1 パック単位で購入できます。

Power Pages 匿名ユーザー キャパシティ パック

キャパシティ パックのレベル	キャパシティ パックの最小購入数	ユーザー数 (500 ユーザー/キャパシティ パック)	価格
Tier 1	1 パック	500 ユーザー以上	75 ドル/パック
Tier 2	20 パック	10,000 ユーザー以上	37.50 ドル/パック
Tier 3	200 パック	100,000 ユーザー以上	25 ドル/パック

月あたり Power Pages の各 Web サイトにアクセスする匿名ユーザーの数を予測し、それを満たす数のキャパシティ パック ライセンスを購入する必要があります。未使用のキャパシティを翌月に持ち越すことはできません。注: 匿名ユーザーのキャパシティ パックをユーザーに個々に割り当てる必要はありません。キャパシティは環境に割り当てます。

匿名ユーザー単位のオファーの詳細	
SKU の名称	Power Pages サイトあたりの匿名ユーザー
ライセンスの種類	匿名ユーザー/Web サイト単位

Power Pages 従量課金メーター

Power Pages 従量課金メーターを利用すると、実際に Web サイトにアクセスした認証済みユーザーや匿名ユーザーの数に基づいて料金を後払いできます。
なお、従量課金の環境で Power Pages サブスクリプション ライセンスを使用することはできません。

Power Pages 認証済みユーザー メーター

認証済みユーザーの従量課金メーターを利用すると、1 か月間に Web サイトにアクセスした認証済みユーザーの実数に基づいて、従量制で料金を支払うことができます。

Power Pages 認証済みユーザーの従量課金メーターの定義: Web サイト/月あたりの一意の認証済みユーザーの数をカウントします。

Power Pages 匿名ユーザー メーター

匿名ユーザーの従量課金メーターを利用すると、1 か月間に Web サイトにアクセスした匿名ユーザーの実数に基づいて、従量制で料金を支払うことができます。

Power Pages 匿名ユーザーの従量課金メーターの定義: Power Pages の匿名ユーザー/Web サイトごとの従業課金メーターでは、Web サイト/月あたりの一意の匿名ユーザーの数をカウントします。

Power Apps および Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Pages の使用権

Power Apps および Dynamics 365 Enterprise アプリに含まれる Power Pages の使用権は、Power Apps や Dynamics Enterprise アプリのコンテキストに限定されます。Dynamics 365 Enterprise アプリでは Power Pages の使用権が付与されますが、制限付きテーブルと、そのテーブルでデータの作成、更新、削除を行うユーザーに対する Dynamics 365 のライセンス要件はそのまま適用されます。制限付きテーブルの全一覧は、Dynamics 365 のライセンスを必要とする制限付きテーブルを参照してください。

ライセンス	Power Pages の使用権
Power Apps per app	1 つの Power App アプリの実行、または 1 つの Web サイトへのアクセス
Power Apps Premium	Power Apps と Power Pages の無制限の Web サイト
Dynamics 365 Team Members	なし
Dynamics 365 Operations – Activity	なし
Dynamics 365 アプリ [1]	なし
Dynamics 365 Enterprise アプリ [2]	• ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリのコンテキストに対応付けられた Power Pages Web サイト • ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリと同じ環境に対応付けられた Power Pages Web サイト • 無制限の数の Power Pages Web サイト
Microsoft 365/Office 365	なし

[1] Dynamics 365 Sales Professional、Dynamics 365 Customer Service Professional、Dynamics 365 Team Members、Dynamics 365 Operations – Activity、Dynamics 365 Human Resources Self Service、Dynamics 365 Business Central Team Members

[2] Dynamics 365 Sales Enterprise、Dynamics 365 Sales Premium、Dynamics 365 Customer Service Enterprise、Dynamics 365 Field Service、Dynamics 365 Finance、Dynamics 365 Supply Chain Management、Dynamics 365 Project Operations、Dynamics 365 Commerce、Dynamics 365 Human Resources、Dynamics 365 Business Central、Dynamics 365 Intelligent Order Management

Power Pages の概要

プラン	機能	Power Pages サブスクリプション		Power Pages 従量課金メーター		Power Pages の使用権が含まれる		
		推奨モーション Power Pages 認証済みユーザー Tier 3 (10 万ユーザー以上) 50 ドル/100 ユーザー/月	推奨モーション Power Pages 匿名ユーザー Tier 3 (10 万ユーザー以上) 25 ドル/500 ユーザー/月	Power Pages 認証済みユーザー メーター[1] 4 ドル/ユーザー	Power Pages 匿名ユーザー メーター[1] 0.30 ドル/ユーザー	Power Apps per app	Power Apps Premium	一部の D365 Enterprise ライセンス
Power Pages	Web サイトの作成、利用、ホスト、管理	●	●	●	●	1 つのアプリまたは 1 つの Web サイト	●	ライセンスを取得した D365 アプリと同じ環境内
	安全なアクセスの認証	●		●	●			
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●	●	●	●	●	●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●	●	●	●	●	●	●
Dataverse	Dataverse へのフル アクセス	●	●			●	●	●
	カスタム テーブルと複雑なテーブルの作成と利用 [1]	●	●			●	●	●
	Dataverse のデータベース キャパシティ (累積)	2 GB[2]	500 MB[2]			50 MB[3]	250 MB[3]	●
	Dataverse の ファイル キャパシティ (累積)	16 GB[2]	4 GB[2]			400 MB[3]	2 GB[3]	
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス [4]	●	●			●	●	アプリのコンテキスト内

[1] Power Platform 従量課金を使用するように構成された環境には、環境につき 1 GB の Dataverse データベース キャパシティと 1 GB の Dataverse ファイル キャパシティの権利が一度だけ提供されます。Dataverse のデータベース/ファイル/ログの追加サブスクリプション キャパシティは 1 GB 単位で購入できます。

[2] 制限付きテーブルでの Power Pages の使用権と、サポート案件テーブルに関する例外については、Dynamics 365 のライセンスを必要とする制限付きテーブルを参照してください。

[3] キャパシティ パックあたり

[4] ライセンスあたりのキャパシティ

[5] 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のすべての使用にフル ライセンスが必要です。詳細については、Power Platform のマネージド環境を参照してください。

Dataverse

Dataverse の既定および付加されるキャパシティの権利

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のそれぞれの既定のサブスクリプションキャパシティは、同じテナントおよびインフラストラクチャで使用し、1 つのテナント全体で計上されます。Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、または Power Pages のライセンスを購入したテナントには、既定のキャパシティが提供されます。さらに、Power Apps Premium、Power Apps per app、Power Automate Premium、Power Automate Process、Power Automate Process Mining、Power Pages では、ライセンス 1 つごとに追加のキャパシティがテナントに付加されます。Dataverse for Teams のキャパシティとサービスの上限については、こちらのドキュメントを参照してください。

Power Apps のテナントあたりのキャパシティ	Premium 既定	per app 既定	Premium 付加	per app 付加
Dataverse のデータベース キャパシティ	10 GB	5 GB	250 MB	50 MB
Dataverse のファイル キャパシティ	20 GB	20 GB	2 GB	400 MB
Dataverse のログ キャパシティ	2 GB	2 GB		

Power Automate のテナントあたりのキャパシティ	Premium 既定	per user 既定	Process 既定	per flow 既定	Premium 付加	per user 付加	Process 付加	per flow 付加	Process Mining 付加
Dataverse のデータベース キャパシティ	10 GB	10 GB	5 GB	5 GB	250 MB	250 MB	50 MB	50 MB	2 GB
Dataverse のファイル キャパシティ	20 GB	20 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	200 MB	200 MB	1 TB
Dataverse のログ キャパシティ	2 GB	2 GB	200 MB	200 MB					

なお、Power Automate Process と Power Automate per flow では、必要な数のフローを購入できます。フローごとにキャパシティの上限が引き上げられます。

Power Virtual Agents のテナントあたりのキャパシティ	テナントあたりの既定
Dataverse のデータベース キャパシティ	10 GB
Dataverse のファイル キャパシティ	20 GB
Dataverse のログ キャパシティ	2 GB

Power Pages のキャパシティ	テナントあたりの既定	テナントあたりの既定	認証済みユーザー用キャパシティ パックごとに付加	匿名ユーザー用キャパシティ パックごとに付加
Dataverse のデータベース キャパシティ	5 GB	5 GB	2 GB	500 MB
Dataverse のファイル キャパシティ			16 GB	4 GB

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages、Dynamics 365 Sales/Customer Service/Field Service アプリケーションは、同じテナントとインフラストラクチャを使用します。Dataverse のキャパシティ (Dataverse データベース、Dataverse ファイル、Dataverse ログ) はテナント全体で累積し、関連するアプリケーションワークロード間で共有されます。

Power Platform 以外のマイクロソフト サブスクリプションにも、Dataverse のキャパシティの権利を付与するものがあります。Project for the web の詳細についてはこちらのページを、その他の権利に関する情報は Dynamics 365 ライセンス ガイドを参照してください。

Dataverse は、Outlook や SharePoint と統合できます。

Dataverse のキャパシティの種類と目的

Dataverse	目的
データベース	テーブルの定義とデータを格納および管理します。
ファイル	Dynamics 365 Sales/Customer Service/Field Service アプリケーションおよび Power Apps のメモやメールの添付ファイルを保存します。これらの添付ファイルには、ドキュメント、画像ファイル、動画、PDF ファイルなど、組織で必要とされる重要なファイルが含まれます。
ログ	テーブルおよび列データの変化を経時的に記録して、分析やレポートの目的で使用できるようにします。ログ キャパシティを使用すると、組織は監査、コンプライアンス、ガバナンス ポリシーを満たすことができます。

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages、Dynamics 365 Sales/Customer Service/Field Service のいずれかのサブスクリプションを初めて購入すると、そのテナントに既定のキャパシティの権利が 1 回のみ提供されます。たとえば、新規のお客様が Power Apps Premium を購入した場合、そのテナントには既定の 10 GB の Dataverse データベース キャパシティが提供されます。追加のサブスクリプションを購入しても、テナントの既定のキャパシティが増えるわけではありません。

テナントに追加のサブスクリプションを追加すると、Dataverse の追加のキャパシティがそのテナントに上乗せされます。例: 新規のお客様が Power Apps Premium ライセンスを 10 シート、Power Apps per app ライセンスを 20 シート購入したとします。この場合、テナント全体でプールされる合計キャパシティは以下のようになります (注: 1 GB = 1,024 MB)。

既定および付加分のキャパシティ割り当て	既定/テナント	Enterprise USL 10 シートあたりの付加	テナント全体の合計キャパシティ
Dataverse のデータベース キャパシティ	10 GB	10*250 MB + 20*50 MB = 3.5 GB	10 GB + 3.5 GB = 13.5 GB
Dataverse のファイル キャパシティ	20 GB	10*2GB + 20*400MB = 28GB	20 GB + 28 GB = 48 GB
Dataverse のログ キャパシティ	2 GB	なし	2 GB

Dataverse キャパシティ アドオン

Dataverse を利用するアプリ、フロー、または Web サイトが消費する Dataverse のデータベース、ファイル、ログのキャパシティの量はさまざまです。追加のキャパシティは、Dataverse キャパシティ アドオンを通じて購入できます。

テナントあたりのサブスクリプション キャパシティ	追加購入単位
Dataverse データベース キャパシティ アドオン	1 GB
Dataverse ファイル キャパシティ アドオン	1 GB
Dataverse ログ キャパシティ アドオン	1 GB

注: Dataverse のキャパシティ アドオンは、Dataverse for Teams のシナリオには適用されません (例: Dataverse for Teams 環境が上限に達した場合、キャパシティを増やすには、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のフル ライセンスのいずれかにステップアップする必要があります)。

Power Platform 従量課金環境における Dataverse の既定のキャパシティ

Dataverse の既定のキャパシティ

Power Platform 従量課金を使用するように構成された環境には、環境につき Dataverse データベース キャパシティ 1 GB と Dataverse ファイル キャパシティ 1 GB の権利が一度だけ提供されます。これらの権利は、環境内でアプリまたはカスタム Web サイトを使用するユーザー数によって変化することはありません。これらの従量課金環境は、テナント全体の Dataverse キャパシティを消費しません。Power Platform 従量課金の詳細については、http://aka.ms/PowerPlatformPAYG を参照してください。

従量課金環境	従量課金環境あたりに含まれるキャパシティ
Dataverse のデータベース キャパシティ	1 GB
Dataverse のファイル キャパシティ	1 GB
Dataverse のログ キャパシティ	なし

Dataverse のキャパシティ メーター

従量課金を有効化した環境では、サブスクリプションのキャパシティ アドオンで超過分をカバーする従来の方法に代わり、Dataverse のキャパシティ メーターを使用して、Dataverse の使用量を従量課金で支払うことができます。Dataverse の従量課金のキャパシティは、各環境に割り当てられた 1 GB の Dataverse データベース キャパシティと 1 GB の Dataverse ファイル キャパシティの権利を超過してその環境で使用されたキャパシティの量に基づいて請求されます。Dataverse のログ キャパシティは割り当てられません(端数の使用量は、現地通貨で小数点以下第 2 位まで計算されます)。

メーターの定義: 割り当てられた量 (1 環境あたりデータベース 1 GB、ファイル ストレージ 1 GB) を超過して環境内で使用されたキャパシティを指します。

Dataverse キャパシティ/環境	追加購入単位
Dataverse のデータベース キャパシティ	1 GB
Dataverse のファイル キャパシティ	1 GB
Dataverse のログ キャパシティ	1 GB

AI Builder

サービスの概要

AI Builder は、人工知能 (AI) の技術的な使用経験を問わず、あらゆる人々を支援します。このソリューションを使用することで、企業はアプリとビジネス プロセスの両方に AI 機能を簡単に追加できます。AI Builder では、予測、名刺リーダーなど、さまざまなシナリオをサポートしています。AI Builder の詳細については、AI Builder ライセンスのドキュメントを参照してください。

ライセンスの概要

AI Builder のライセンスは、キャパシティ ベースで提供されます。このキャパシティは、「サービス クレジット」の形で示されます。サービス クレジットは、AI Builder でサポートされるすべての機能において単一 (共通) の通貨となります。前提条件となるライセンスは、Power Apps Premium、Power Apps per app、Power Automate Premium、Power Automate ホスト型 RPA アドオン、Power Automate 無人 RPA アドオン、Dynamics 365 Finance サブスクリプションのライセンスです。対象の基本ライセンス 1 つに対して複数の AI Builder アドオンを適用できます。

AI Builder アドオンは、キャパシティ パックによって提供されます。1 つのキャパシティ パックには、**月あたり 100 万のサービス クレジット**が含まれています。サービス クレジットはテナント全体でプールされ、AI Builder サービスを使用した場合に有効なサービス クレジットが差し引かれます (例: 使用量の予測に基づいて月に 470 万のサービス クレジットを必要とする場合は、キャパシティ パックを 5 つ購入することになります)。

フォーム処理や予測といった機能によって、サービス クレジットの消費レートは異なります(詳細は AI Builder レート カードを参照してください)。すべてのシナリオにおける使用量の予測に基づいて、適切な数の AI Builder キャパシティ パックを購入してください。

AI Builder キャパシティ パック

キャパシティ パックのレベル	AI Builder アドオン SKU の名称	キャパシティ パックの最小購入数	キャパシティ パックの価格/月
Tier 1	AI Builder Capacity T1 アドオン	1 キャパシティ パック	500 ドル/キャパシティ パック
Tier 2	AI Builder Capacity T2 アドオン	10 キャパシティ パック	375 ドル/キャパシティ パック
Tier 3	AI Builder Capacity T3 アドオン	50 キャパシティ パック	250 ドル/キャパシティ パック

- 購入したサービス クレジットは、Power Automate、Power Apps、Dynamics 365 アプリケーションに含まれる AI Builder モデルから使用できます。
- サービス クレジットは、トレーニング環境と運用環境の両方で消費されます。

AI Builder レート カード

AI Builder の各機能は、異なるレートでサービス クレジットを消費します。各種 AI Builder サービスの予測される使用量に基づいて、購入する AI Builder キャパシティ アドオン単位を見積もるには、こちらの計算サイトをご利用ください。管理者はこちらからテナントのキャパシティ消費レポート (Excel) をダウンロードできます。

機能	操作	種類	サービス クレジットの消費レート	操作ごとのドル換算額*
名刺リーダー	リアルタイム予測	事前構築済み	32 クレジット/カード	0.016 ドル/カード
ドキュメント処理	トレーニング	カスタム	無料	
	リアルタイム予測	カスタム	100 クレジット/ページ	0.05 ドル/ページ
ID ドキュメント リーダー	リアルタイム予測	事前構築済み	32 クレジット/ページ	0.016 ドル/ページ
請求書処理	リアルタイム予測	事前構築済み	32 クレジット/ページ	0.016 ドル/ページ
物体検出	トレーニング	カスタム	20 クレジット/画像 (標準 - 最初の 500 点)	0.01 ドル/画像 (標準 - 最初の 500 点)
			160 クレジット/画像 (ドメイン - 最初の 500 点)	0.08 ドル/画像 (ドメイン - 最初の 500 点)
			10 クレジット/画像 (501 点以降)	0.005 ドル/画像 (501 点以降)
	リアルタイム予測	カスタム	8 クレジット/画像 (標準およびドメイン)	0.004 ドル/画像
予測	トレーニング	カスタム	無料	
	スケジュールされた予測	カスタム	1 クレジット/5 行	0.0005 ドル/5 行
	リアルタイム予測	カスタム	10 クレジット/1 行	0.005 ドル/1 行
領収書処理	リアルタイム予測	事前構築済み	32 クレジット/ページ	0.016 ドル/ページ
テキスト分析 カテゴリ分類、エンティティ抽出	トレーニング	カスタム	無料	
	リアルタイム予測	カスタム	20 クレジット/1,000 文字	0.01 ドル/1,000 文字
	リアルタイム予測	事前構築済み	20 クレジット/1,000 文字	0.01 ドル/1,000 文字
テキスト分析 キー フレーズ抽出、言語検出、センチメント分析	リアルタイム予測	事前構築済み	20 クレジット/1,000 文字	0.001 ドル/1,000 文字
テキスト認識	リアルタイム予測	事前構築済み	3 クレジット/画像	0.0015 ドル/1,000 文字
テキスト翻訳	リアルタイム予測	事前構築済み	22 クレジット/1,000 文字	0.0011 ドル/1,000 文字
画像分類	トレーニング	カスタム	無料 (オンプレミスで実施)	
	リアルタイム予測	カスタム	4 クレジット/画像	0.002 ドル/画像

注: AI Builder は、AI Builder キャパシティ アドオン (100 万サービス クレジットあたり月額 500 ドル) を通じて購入します。
操作ごとのドル換算額は、定価に基づき参考までに示しています。

キャパシティの適用

AI Builder キャパシティ アドオン SKU の場合、購入したキャパシティは 1 か月ごとに適用され、未使用のサービス クレジットは翌月に繰り越されません。

超過使用分の処理

超過に正当な理由があり、時おり発生する場合には容認されますが、購入したキャパシティを超過する場合は、コンプライアンスを維持するために、標準のマイクロソフトの使用条件に従って購入数量を調整してください。クレジットの使用を超過した場合、超過している間は AI Builder モデルの編集と作成がブロックされます。フローおよびアプリで使用され

る AI Builder モデルについて、使用量が購入したキャパシティを大幅に超える場合は、より厳格な技術的対応 (サービス拒否など) が行われます。

お客様による AI Builder のキャパシティ管理をサポートするために、包括的な監視、レポート、アラート メカニズムが導入されます。

購入したキャパシティの割り当て

購入したキャパシティの適切な Power Automate、Power Apps アプリケーション、Dynamics 365 ワークロードへの割り当ては、製品内で管理されます。割り当てにより、重要な AI モデルのキャパシティを確保できます。割り当ての最小キャパシティは 1 サービス クレジットです。

関連情報

マルチプレキシング (多重化)

マイクロソフトのマルチプレキシング ルールは、ソフトウェアまたはサービスへのアクセスに必要なライセンス数よりも購入数を少なくする方法が模索されることに対処するものです。「マルチプレキシング」とは、ハードウェアまたはソフトウェアを使用することによって、接続をプールしたり、情報に迂回的または間接的にアクセスしたり、製品に直接アクセスするデバイスや製品を直接使用するユーザーの数を減らしたりすることを指します。マルチプレキシングで最も一般的なのは、多数のユーザーが 1 つの接続ポイントからアプリにアクセスする「接続プーリング」と呼ばれる形態です。世の中のテクノロジが進歩するにつれて、データ移行用の自動プロセスやアプリへの間接アクセスなど、他にもさまざまな形態が生まれています。

Power Platform サービスへのアクセスに必要な各種サブスクリプション ライセンスの数は、マルチプレキシングによって減ることはありません。Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages のアプリで直接的か間接的かにかかわらず、データの入力、照会、閲覧、その他のアクセスを行うすべてのユーザーまたはデバイスは、適切なライセンスを取得する必要があります。Power Platform アプリと、最終的に Power Platform を間接的に使用するユーザーやデバイスとの間に存在するハードウェアやソフトウェアの階層数は、必要となるユーザー SL の数に影響しません。マルチプレキシングの詳細については、マイクロソフトのマルチプレキシングの概要を参照してください。

外部ユーザーのライセンス要件

外部ユーザー* には、Power Platform のサービスやデータにアクセスできるように適切にライセンスが割り当てられる必要があります。適用可能なライセンスには以下が含まれます。

- 適切な Power Platform ユーザー SL
- Power Pages の認証済みユーザー/Web サイトまたは匿名ユーザー/Web サイトのキャパシティ ライセンス
- 適切にライセンス付与された Power Automate per flow または Power Automate Process 経由でのアクセス
- Dynamics 365、Office 365、または Windows ライセンスからシードされたライセンス機能

ユーザーは、アクセスを直接行うか間接的に行うかにかかわらず、マルチプレキシングのガイドラインに沿って適切にライセンスが付与される必要があります。外部ゲスト ユーザーのアクセスの詳細については、こちらを参照してください。
* 外部ユーザーとは、自社またはその関連会社の従業員、オンサイトの契約社員、オンサイトのエージェントのいずれにも該当しないユーザーを指します。

トライアルと実装

無料トライアルには以下からサインアップできます。

- Power Apps はこちら
- Power Pages はこちら
- Power Automate はこちら
- Power Virtual Agents はこちら
- AI Builder はこちら

開発とテスト

無料の Developer Plan は個人使用を想定したもので、開発者は Power Apps、Power Automate、Dataverse を学習し、スキルを習得することができます。詳細については、こちらを参照してください。

価格

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages の価格表については、以下を参照してください。

- Power Apps: https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/pricing/
- Power Automate: https://powerautomate.microsoft.com/ja-jp/pricing/
- Power Virtual Agents: https://powervirtualagents.microsoft.com/ja-jp/pricing/
- Power Pages: https://powerpages.microsoft.com/ja-jp/pricing/

Power Platform サービスのサポート

サポート プラン

MOSP、EA、MPSA、EAS、EES を通じて Power Platform ソリューションのライセンスを取得した場合は、サブスクリプション サポート プラン (英語) に記載されている特典を受けることができます。Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Power Pages、Dynamics 365 のサポートに関する詳細は、こちらを確認してください。

- Dynamics 365 および Power Platform 向けの Professional Direct サポート (英語)
- ユニファイド サポート (エンタープライズ ソリューション向け)

SKU の名称	説明	価格/月	ライセンスの単位
Dynamics 365 および Power Platform 向け Professional Direct サポート	Dynamics 365 と Power Platform 向けのユーザー単位の ProDirect サポート サブスクリプション	9 ドル	ユーザー*

* お客様は、契約に基づいて Power Platform と Dynamics 365 の各ライセンスに対応するのに十分な Professional Direct サポート ライセンスを取得する必要があります。上限は 250 ライセンスです。

付録 A: 用語とカスタム テーブル

管理: 管理は、組織内における Power Apps の使用に関する境界やポリシーを確立するうえで重要です。

- 環境の管理 - データ、アプリ、フローを保存、管理、共有する場所
- データ ポリシー - データの共有方法を定義するポリシーを作成、適用

アプリ (Power Apps per app の定義): 「アプリ」とは、特定のビジネス シナリオを解決する Power Platform 資産の組み合わせを指します。

- 各「per app」ライセンスにより、1 つのカスタム アプリ (キャンバスまたはモデル駆動) の実行、または 1 つのカスタム Web サイトへのアクセスのための使用権が提供されます。
- 他のコンポーネント (フォーム、ダッシュボードなど) には上限はありません。

アプリケーション プログラム インターフェイス (API): マイクロソフトのサービスおよび関連ツールへのアクセスを提供する任意の形式のアプリケーション プログラミング インターフェイスです。たとえば、マイクロソフトのサービスを操作できるサンプル コード、マイクロソフトがこれらの使用条件の下で提供するドキュメントなどがあり、当該 API のすべての要素、コンポーネント、実行可能ファイルが含まれます。

アプリケーションの種類:

- **キャンバス アプリ**: 従来のプログラミング言語でコードを記述することなく、Microsoft Power Apps のキャンバスからビジネス アプリケーションをデザインおよび構築できます。キャンバスに要素をドラッグ アンド ドロップすることでアプリケーションをデザインでき、アプリのレイアウトを完全に制御できます。
- **モデル駆動アプリ**: データ モデルやビジネス プロセスを基盤としてアプリを開発する、コンポーネント中心のアプローチでデザインを行います。デザイナーがアプリケーションのレイアウトを完全に制御できるキャンバス アプリの開発とは異なり、モデル駆動アプリの場合は、主にアプリケーションに追加するコンポーネントによって、レイアウトの大部分が自動的に決まります。

コネクタ: ユーザーがビジネス データに接続する手段です。一連の既成のアクションやトリガーを活用して、アプリケーションやワークフローを構築できます。接続の例: Dataverse (旧称 Common Data Service)、SharePoint、SQL、OneDrive、Excel、Dynamics 365。

- **標準コネクタ**: Microsoft 365 エコシステム内のデータ ソースに接続します。例: Excel、Outlook、SharePoint、LinkedIn。標準コネクタの一覧については、こちらを参照してください。
- **プレミアム コネクタ**: Microsoft 365 以外のビジネス システムに接続します。例: DocuSign、Zendesk、Jira Software。
- **カスタム コネクタ**: ニーズに即したシナリオをより多くサポートするために、ユーザーが独自のトリガーやアクションを備えたカスタム コネクタを作成することができます。これらのコネクタは関数ベースであり、基礎となるサービスの特定の関数の呼び出しに基づいてデータが返されます。**例**: 既成のコネクタで利用できないサービス。
- **オンプレミス コネクタ:** ゲートウェイを使用してオンプレミス データにアクセスします。**例**: Microsoft SQL Server。

CRUD: 作成 (Create)、読み取り (Read)、更新 (Update)、削除 (Delete) の各操作を指します。

Dataverse (旧称 Common Data Service): Dataverse では、ビジネス アプリケーションで使用されるデータを格納、管理できます。

Dataverse を基盤とする Dataverse for Teams は、Microsoft Teams 向けの組み込みのローコード データ プラットフォームであり、リレーショナル データ ストレージ、豊富なデータ型、エンタープライズ クラスのガバナンス、ワンクリックのソリューション展開機能を提供します。

Dataverse はあらゆるアプリケーション (Teams だけでなく) で使用できるよう設計されており、監査、共有、列レベルおよび階層型のセキュリティなどの高度なセキュリティ機能が備わっています。Dataverse for Teams と Dataverse の詳細な機能比較については、こちらの公開ドキュメントを参照してください。

デスクトップ フロー: RPA 市場をターゲットとする Power Automate の機能で、レガシ アプリを GUI (API ではなく) を通じて自動化します。

- デスクトップ フローを通じて実行されるプロセスは、より幅広い API ベースの自動化シナリオや既存のスタンドアロン製品に含めることができます。

フロー (アプリのコンテキスト内のフローの定義): トリガーとアクションの両方について、フローを埋め込むアプリケーションに含まれるフローは以下に接続できます。

- フローを埋め込むアプリケーションの使用権に含まれるデータ ソース
- フローを埋め込むアプリケーション本体 (組み込みのトリガー/アクションを使用)

ロボティック プロセス オートメーション (RPA): アプリケーションのグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI) の使用を含むプロセス自動化の分野。ユーザーが自動化テクノロジの一連のステップ、アクション、タスクを記録し、GUI で直接反復することによりプロセスを実行します。

RPA ロボットまたは「ボット」: デスクトップまたは仮想化環境で実行される GUI ベースのプロセスのことです。

- **有人 (Attended) ボット**: ワークステーション (ローカルやリモート デスクトップなど) で明示的なユーザー アクションによってトリガーされます。
  - 同じワークステーションでユーザーと同時に動作する必要があります。
  - 複数のプロセスを実行できますが、各プロセスをシリアル化して順に実行する必要があります。
- **無人 (Unattended) ボット:** ユーザーの操作なしに自律的に動作します。
  - ローカルやリモート デスクトップといった仮想化環境で展開できます。
  - 複数のプロセスを実行できますが、各プロセスをシリアル化して順に実行する必要があります。
  - 単一プロセスで複数のインスタンスを並行して実行するには、インスタンスごとに追加の無人ボットが必要です。

テーブル: データを格納するために使用するレコードのセットです。テーブルがデータベース内のデータを格納するのと同様です。テーブルを使用すると、ユーザーが、組織のビジネス アプリケーション内で使用するビジネス データをモデル化できます。テーブルの例: 取引先企業、取引先担当者、潜在顧客、営業案件。

- **標準テーブル:** Dataverse (旧称 Common Data Service) では、あらゆるビジネス アプリケーションで特によく使用されるテーブルを表すビジネス テーブルが標準で提供されます。**例:** 取引先企業、予定、取引先担当者、メール。
- **カスタム テーブル**: 特定のビジネス ニーズに対応するためにお客様/パートナーによって作成されるテーブルです。たとえば、マシンの種類は標準テーブルにはないため、カスタム テーブルとして作成できます。
- **制限付きテーブル**: フル アクセスするために Dynamics 365 ライセンスが必要となるテーブルです。例: サポート案件、SAL、サポート情報記事。制限付きテーブルの一覧については、こちらを参照してください。
- **複雑なテーブル**: サーバー側の複雑なビジネス ロジックを使用するテーブルです。お客様/パートナーがテーブル (標準またはカスタム) をカスタム ビジネス ロジックに関連付けると、そのテーブルは複雑なテーブルになります。例: リアルタイム ワークフローまたはコード プラグインを使用するテーブル。

ワークフロー:

- **バックグラウンド ワークフロー**: システムおよびサービス全体のタスクを自動化します。バックグラウンドで実行されます。
- **リアルタイム ワークフロー**: システムおよびサービス全体のタスクを自動化します。リアルタイムで実行されます。
- **ビジネス プロセス フロー**: 人間が操作できるステートフルな構造化ワークフローです。複数のステップから構成され、分岐/ステージ ゲーティングが可能です。プロセス KPI やレポートなどが含まれます。

付録 B: Power Platform の機能を含む Dynamics 365、Microsoft/Office 365、Windows のライセンス

Dynamics 365

対象ライセンス	対象ライセンスに含まれる限定的な使用権		
	Power Apps	Power Automate	Power Pages
Dynamics 365 Sales Premium	○	○	○
Dynamics 365 Sales Enterprise	○	○	○
Dynamics 365 Sales Professional		○	
Dynamics 365 Customer Service Enterprise	○	○	○
Dynamics 365 Customer Service Professional		○	
Dynamics 365 Field Service	○	○	○
Dynamics 365 Project Operations	○	○	○
Dynamics 365 Team Members		○	
Dynamics 365 Finance	○	○	○
Dynamics 365 Supply Chain Management	○	○	○
Dynamics 365 Commerce	○	○	○
Dynamics 365 Human Resources	○	○	○
Dynamics 365 Operations – Activity		○	
Dynamics 365 Business Central	○	○	○
Dynamics 365 Business Central Team Members		○	
Dynamics 365 Intelligent Order Management	○	○	○

Microsoft 365*、Office 365、Windows

対象ライセンス	対象ライセンスに含まれる限定的な使用権				
	Power Apps	Power Automate		Power Virtual Agents for Teams	Dataverse for Teams
		クラウド フロー	デスクトップ フロー		
Office 365 E1	○	○		○	○
Office 365 E3	○	○		○	○
Office 365 E5	○	○		○	○
Office 365 F3	○	○		○	○
M365 Business Basic	○	○		○	○
M365 Business Standard	○	○		○	○
M365 Business Premium	○	○	○	○	○
Microsoft 365 F1					
Microsoft 365 F3	○	○	○	○	○
Microsoft 365 E3	○	○	○	○	○
Microsoft 365 E5	○	○	○	○	○
Windows 10 Pro			○		
Windows Enterprise E3			○		
Windows Enterprise E5			○		
Office 365 A1	○	○			
Office 365 A3[1]	○	○		○	○
Office 365 A5[1]	○	○		○	○
Microsoft 365 A1[2]	○	○			
Microsoft 365 A3[1]	○	○	○	○	○
Microsoft 365 A5[1]	○	○	○	○	○
Windows Education A3[1]			○		
Windows Education A5[1]			○		

[1] 学生使用特典にも含まれます。

[2] 付属の Office 365 A1 経由で含まれます。

*Microsoft 365 は、Microsoft 365 製品エントリのライセンス条項によって変更された、Microsoft 365 を構成する個別の製品およびサービスのライセンス条項に準拠します。Microsoft 365 および Office 365 スイートのライセンス チャネルと対象セグメントの詳細については、製品条項を参照してください。

付録 C: 変更履歴

ページ	項目	変更区分	対応	日付
全般	Power Automate	明確化	テナント/環境あたりの権利	2023 年 10 月
7、14	Power Automate	新規	Power Automate Process	2023 年 8 月
7、13	Power Automate	ブランド変更	「有人 RPA を含む Power Automate per user」から「Power Automate Premium」に名称変更	2023 年 8 月
5、10	Power Apps	ブランド変更	「Power Apps per user」から「Power Apps Premium」に名称変更	2023 年 8 月
20、21	AI Builder	更新	階層別の価格設定	2023 年 5 月
28	AI Builder	更新	レート カードの更新	2023 年 2 月
全般	マネージド環境	更新	D365 の要件、アプリのコンテキスト内	2023 年 2 月
12、17	Power Automate	新規	ホスト型 RPA	2023 年 1 月
全般	Power Platform	新規	マネージド環境	2023 年 1 月
全般	Power Pages	新規	Power Pages	2022 年 11 月
24	AI Builder	更新	レート カードに画像分類を追加	2022 年 6 月
全般	Power Platform	明確化	微調整	2022 年 5 月
24	AI Builder	新規	機能および操作別のサービス クレジットの消費レートの表	2022 年 4 月
20	Power Virtual Agents for Teams	明確化	24 時間ごとのユーザーあたりのチャット セッション	2022 年 4 月
5	Power Apps	新規	Power Apps per app 従量課金プラン	2022 年 3 月
22、23	Dataverse	新規	Power Platform の従量課金プランと Dataverse キャパシティ	2022 年 3 月
10、17	Power Apps および Power Automate のキャパシティ アドオン	ブランド変更	「Power Platform Requests アドオン」にブランド変更	2022 年 2 月
4、5	Power Apps	新規	AI Builder サービス クレジット	2021 年 12 月
5	Power Apps	新規	作業指示書に関する Dynamics 365 Field Service の使用権	2021 年 12 月
全般	Power Platform 要求	更新	脚注を更新	2021 年 11 月
28	付録 B	更新	Dynamics 365 Intelligent Order Management を追加	2021 年 10 月
3、4	Power Apps per app	更新	権利を更新	2021 年 10 月
全般	WinAutomation	更新	サポート終了	2021 年 10 月
8	Power Apps ポータル	更新	Per login アドオン向けのチャネル	2021 年 6 月
11、17	Power Automate	新規	Process Advisor	2021 年 6 月
全般	Microsoft Dataverse	更新	用語を「エンティティ」から「テーブル」に変更	2021 年 5 月
19	Power Virtual Agents	新規	Dynamics 365 アプリケーションに含まれる Power Virtual Agents の使用権	2021 年 5 月
全般	サブスクリプション キャパシティ	更新	Power Apps および Power Automate	2021 年 5 月
全般	1 日あたりの API 要求の上限	ブランド変更	「Power Platform 要求」にブランド変更	2021 年 5 月
全般	Power Virtual Agents	明確化	1 日あたりの API 要求の上限	2021 年 4 月
7	Power Apps ポータル	明確化	エンド ユーザーの種類	2021 年 3 月

© 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved.
このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しくご使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフトのリセラーを通じて取得するライセンスの価格は、代理店によって決定されます。